

(注) 環境保全施設付近にユニットを配置している。

- 凡例
- : 事業計画路線
 - (light gray) : 施工範囲 (高架工事)
 - (dark gray) : 施工範囲 (掘割工事)
 - (medium gray) : 施工範囲 (擁壁工事)
 - : ユニット位置
 - : 環境保全施設位置

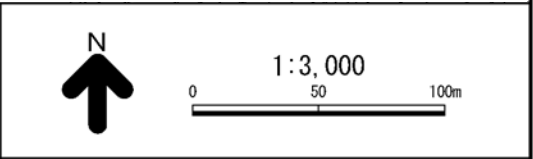


図6.5.22(10) 予測対象時期における
施工範囲・ユニット位置
【高架部(地上部)】

(c) 予測結果

建設機械の稼働に係る騒音の予測結果は、表 6.5.24 に示すとおりである。

工事敷地境界における騒音レベルの 90%レンジ上端値は、1.2m高さと 64~74 デシベル、騒音が最大となる高さで 82~85 デシベルと予測され、いずれも特定建設作業に伴って発生する騒音の規制基準（85 デシベル以下）を下回っている。

また、建設機械の稼働に係る騒音（騒音レベルの 90%レンジ上端値）の平面コンターは、図 6.5.23 に示すとおりである。

表 6.5.24 建設機械の稼働に係る騒音の予測結果

(単位：デシベル)

予測区間	予測対象時期	予測高さ	騒音レベルの 90%レンジ 上端値	環境保全 措置	
北梅田立坑	2023年4月～9月	4.2m	83	予測高さ 1.2m	
		1.2m	74		
国道2号開削部	2023年4月～9月	4.2m	83		
		1.2m	74		
中之島駅	2022年10月～2024年3月	4.2m	83		
		1.2m	74		
西本町駅	2023年10月～2024年9月	4.2m	84		
		1.2m	74		
J R 難波駅取付部	2024年10月～2025年3月	4.2m	83		予測高さ 4.2m
		1.2m	74		
南海新難波駅立坑	2025年10月～2026年3月	4.2m	83		
		1.2m	74		
開削トンネル部	2025年4月～9月	4.2m	83		
		1.2m	74		
掘割・擁壁部	地上部 2026年1月～9月	4.2m	83		
		1.2m	74		
	万能塀 上部 2027年10月～12月	7.2m	82		
		1.2m	70		
高架部	地上部 2026年10月～2027年3月	4.2m	82	、	
		1.2m	69		
	万能塀 上部 2027年10月～12月	7.2m	85		
		1.2m	64	-	

(注) 1. 予測高さの 4.2m 及び 7.2m は、騒音が最大となる高さである。

2. 環境保全措置の 、 は、以下に示すとおりである。

工事敷地境界に防音効果の高い高さ 3m の万能塀（透過損失：25 デシベル）の設置
建設機械周辺に防音シート（透過損失：10 デシベル）の設置（ の効果が見込めず、高さ方向の対策が必要となる箇所）